

いろいな

安藤花名子

私
は
川
と
言
う
と
祖
母
の
家
の
近
く
の
清
流

と自分の家の近くの川の一つが思いうかがふ

祖母の住んでいる長野県の川はとでもきれ

いたゞ
市街地の近くはすこ
きれいと
いうほ

ど
で
も
な
い
か
中
川
よ
り
は
き
れ
い
。
そ
れ
に

山の方の川は本当にきれいだ。
水がすきとお

てい、冷たくて、とても楽しく、た。周

りも自然に^井まわっていて、
とても気持ちよか

た

しかし、中川は水はにごって、自然も少

な
い
土
手
に
は
草
が
生
え
て
い
る
け
れ
ど、
自
然

という自然はない。川の一部にゴミが固まっ

て落ちていゝといふこともあった。

「か
は°
の
ワ
と
夏
休
み
と
い
う
ア
ニ
メ
で

は 岩 手 県 の 清 流 が 物 語 に 出 て き た 。
そ の 川 も

と
て
も
き
れ
い
た
っ
た。

中川たけでなく、都内の川は昔よりとても

きたなく、
てい
都内だけ
なく、
日本

の川がきたなくなっている。高知県の四万十川が最後の清流と呼ばれているほどだ。このように川がほとんどきたなくなってしまう。ているのは、土地の利用や工業などだ。ゴミが多くなる。川はきたなくなる。もうきたなくならないように、川だけでなく、自然を大事にした、と思った。

